

三日間の幸福 三秋 穂著

電気工学科5年 松川 大晟

皆さんこんにちは。図書委員会書記の松川です。図書館だよりを書くこととなった訳ですが、これまでこのようなものを書いたこともなく途方に暮れています。なので、筆が進みそうな私の好きな小説「三日間の幸福」について紹介しようと思う。

主人公クスノキは少年時代ほかの人とは違い優秀な大人になると考えていた。しかし、20歳となり、少年時代の理想とかけ離れていた。人生に希望を見いだせず、金欠であったクスノキは「寿命を買い取ってくれる店」で寿命を売り払い、監視員がつくことになった。仕事とはいえ同年代の女性がいる奇妙な共同生活。主人公は残りの時間を価値のあるものにしようと試みるが果たして・・・

誰しも1度はこのようなことを考えたことがあるだろう。「自分の人生に値段をつけるなら何円だろう。」と。本作品は「命の価値」について非情に、かつ優しく書かれている。序章にて主人公が寿命を売り払うシーンから始まることから、死に対して意識させるとともに物語を通じて暗い雰囲気 연출し、読者は世界に引き込まれていく。しかし、読み終わる時にはネガティブな気持ちではなく、前を向いて歩いていこうと思える。

生きることにしてお金は必要不可欠であり、非常に魅力的なものだ。しかし、そればかり追い求めることが人生に豊かさを与えるとは言い切れない。陳腐な言い回しになるが、人を愛し愛される、それはとても素敵なことで周囲にも幸せを与えることが出来る。長い人生を生きるのなら、自分だけでなく人に幸せを与えることが出来るようにしていきたい。



ブックハンティングについて

学生図書委員会の特に大きなイベントです。

年2回、各クラスで購入希望図書を募り、その図書を大阪の大型書店で購入する活動ですが、コロナ禍においてはオンラインで実施しています。1階奥にコーナーがあります。

近鉄奈良線：街と駅の1世紀：懐かしい沿線写真で訪ねる： 近鉄奈良線 各駅今昔散歩 大正・昭和の街角を紹介

藤原 浩著 情報工学科4年 川城 聖矢

近鉄奈良線、それは100年以上の歴史が詰まった近鉄の代表的な路線の一つである。この本には歴史ある奈良線を中心に生駒線、けいはんな線、生駒ケーブルの歴史が綴られている。100年という長い月日もあり、現在と違う点が多く存在する奈良線。そのほとんどが今昔の写真とともに書かれている。私が特に気になった点は近鉄奈良と生駒～石切の区間である。どちらもこの本を読んで初めて知った。

まず近鉄奈良付近についてである。この駅は現在、地下駅となっているが1969年頃までは地上駅であったのである。驚いた点はそこだけではない。なんと近鉄奈良駅のあたりは併用軌道であった。併用軌道とは路面電車のように道路上を電車が走ることを言う。つまり電車と車や人が並走していた時代があったのだ。昔は奈良の中心部の地上に電車が走っていた、しかも路面電車のような方式で、である。

もう一つの生駒～石切についてだが、この路線もなかなか面白い歴史を持っている。現在のトンネルは奈良線の輸送力を上げるために大型車を投入する時に旧トンネルは通れないために作られた2代目である。それまでは現在は使われていないトンネルを使っていた。それは旧生駒トンネルと呼ばれるトンネルであった。旧トンネルは近鉄の前身となる大阪電気軌道が開通させた。しかしこのトンネルを開通させるためには涙ぐましい努力があった。トンネル工事には落盤事故や湧水などが発生し、当初の予算よりも工費がかかってしまった。故に鉄道会社、トンネルを掘った会社ともにしばらくは経営難に陥ったという。それでも手抜き工事はなく良質なトンネルであったようだ。

その他にも読んでいてあっと驚かされるような事が多く載っていた。例えば、大阪方の終点についてである。現在奈良線は近鉄奈良～大阪難波のことを指すことが多い。実際この区間で完結する電車がかなりある。だが開業当初は難波ではなく上本町までの運転となっていた。

普段の生活で使っている路線だが、多くのドラマを知る事ができたり、時代背景を知ったりする事ができた良い一冊だった。長い歴史を背負ったものは意外と近くにあると感じられた。

編集後記

図書館だより第80号に執筆いただいた皆様、ご寄稿ありがとうございました。今号からPDFによるWEB掲載のみの発行とさせて頂いております。図書館は、今年度もコロナ禍のため利用が制限され、ご不便をおかけしておりますが、どうかご理解のほどよろしく申し上げます。



奈良工業高等専門学校 図書館

〒639-1080 大和郡山市矢田町 22

TEL 0743-55-6015

URL <https://www.nara-k.ac.jp/nnct-library/>

National Institute of Technology, KOSSEN, Nara College

科学道100冊



科学道100冊とは国立研究開発法人理化学研究所等のプロジェクトにより毎年選ばれる図書です。今年度、後援会より新たに追贈されました。全て1階奥にラインアップしています。